

年頭にあたって

職員の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

2009年は100年に一度といわれる不況の真っ只中から出発しました。不況は単なる経済的困窮者を生み出すのみならず、社会不安の高まりをももたらすものです。私たち医療機関に働くものにとって、雇用不安などの難局には幸いにしてはば無縁の世界と言えます。しかしながら、国民にとって、この時期に於ける健康上の不安は、平時に増してつらいものだという事を踏まえ、しっかりと、我々の責務を果たしていかなければなりません。以下は、本年度上半期に於ける当グループの主な事業計画です。今年も力をあわせて事業の成功を期してがんばりましょう。

〔2009年上半期事業計画こよみ〕

1月

- ・ 5日 新緑脳神経外科サイバーナイフセンター
体幹部治療準備完了

従来の頭頸部に加え体幹部の治療を開始するための装置の設置が完了。

(背髄疾患への対応は1月下旬から可能となりましたが、肺、肝臓への治療開始は未定)

- ・ 16日 川崎地区合同新年会
狭山地区合同新年会

2月

狭山病院中央棟(旧南棟)工事完成

(検体検査室・細菌室・薬剤室・図書室。休憩室の充実)

3月

川崎幸病院移転予定地の引渡し

狭山病院管理棟改修工事完成

(医局・カンファレンスルーム・更衣室の充実)

さやま総合クリニック健康管理センター完成

(さやま総合クリニック4階改修・ドック・健診の
専門フロアー)

4月

- ・ 1日～2日 入社式・オリエンテーション

5月

さやま総合クリニックMRI(1.5テスラ)

設置工事完了

6月

石心会が社会医療法人認定申請

社会医療法人の認定を取得すると、石心会は公益法人となり、医療保険収入部分の所得税が非課税となり、救急医療施設の固定資産税・都市計画税・不動産取得税が非課税となる。

7月

川崎幸病院新築移転設計図完成

→ 工事業業者決定へ

8月

新緑会が名称変更 → 東京石心会へ

9月

川崎幸病院移転新築工事着工

社会医療法人格取得の祝賀会(神奈川・埼玉)

(認可の時期により予定がずれる可能性あり)

本紙タイトル『海燕』は、M・ゴーリキーの散文詩《海燕の歌》(1901)に由来しています。
その大意は以下のとおりであり、石心会のイノベーションマインドの象徴として採用しました。

……暗鬱な雲がたれこめ、雷鳴が轟く空と海。戸惑い騒ぐばかりの鴉らの群を尻目に、
海燕は激しく飛び交い、暗雲と雷鳴を切り裂いて一直線に飛翔する。

(編集部によるダイジェスト)

★トピックス①

狭山病院管理棟改修工事

狭山病院では昨年8月に着工した中央棟建設工事が順調に進められており、来月中旬には1階に無菌製剤室・化療調剤室、2階に生化学検査室・細菌検査室、薬剤管理指導室、感染管理室、3階に診療情報



〈竣工間近の中央棟、左奥は改修予定の管理棟〉

管理室、図書室等が設置されたこの施設がオープンする。狭山病院では引き続きこの中央棟の建設と同様、管理棟の改修工事にも着手する。これは、医師体制を現在の70名から90名体制へと増強することに伴う医局スペースの拡大、看護師等職員の増員に備えて更衣室面積とロッカーの増、さらに職員食堂の拡張を行うもので、これらに加えて面談室・カルテ閲覧室・標本倉庫なども棟内に新設する。工事終了は3月末を予定、防犯安全管理面では中央棟、管理棟ともにIDカードによるセキュリティシステムが導入される予定である。

★トピックス②

看護師復職支援セミナー、好評

― 職場復帰に向けて10名が受講終了―

川崎幸病院 看護部長 佐藤久美子

昨年から実施している潜在看護師復職支援セミナーですが、今年度神奈川県委託事業に応募したところ、県内6病院のうちの1つに選ばれました。

研修は12日間、事業計画提案書のヒアリング等を事前に受けます。目的は昨年同様、「様々な理由で看護職を離れている方に、この機会を通して医療・看護に関する知識や技術を学ぶ場を提供すると共に、職場復帰のきっかけ作りとする」としました。内容は医療機器・静脈注射を中心

とした技術演習、BLS※演習・AED実演、病棟での見学・体験研修、医療安全講義、最近の医療・看護の動向など講義、演習としました。最終的に全日程の受講10名のうち、8名が復職に前向きであり、具体的な相談に来ています。

2名はご自身で無認可保育園を探し、1月からの復職を決定しました。特に病棟実習の期間を6日間と長くしたことで、復職への気持ちが高まった様子でした。この気持ちに間を空けずに復職したいと

何度も相談に来られる方もいて、実際には働きたいと考えている看護師が多いのだと

認識しました。今後は短時間正職員制度など多様な勤務形態を利用し、働きやすい職場環境を整えていきたいと考えています。



※BLS:

Basic Life Support の略で、一次救命処置のことです。

〈受講修了者:

職場復帰に向けて思い新たに
……指導スタッフとともに〉

★トピックス③

― 川崎幸病院 ―

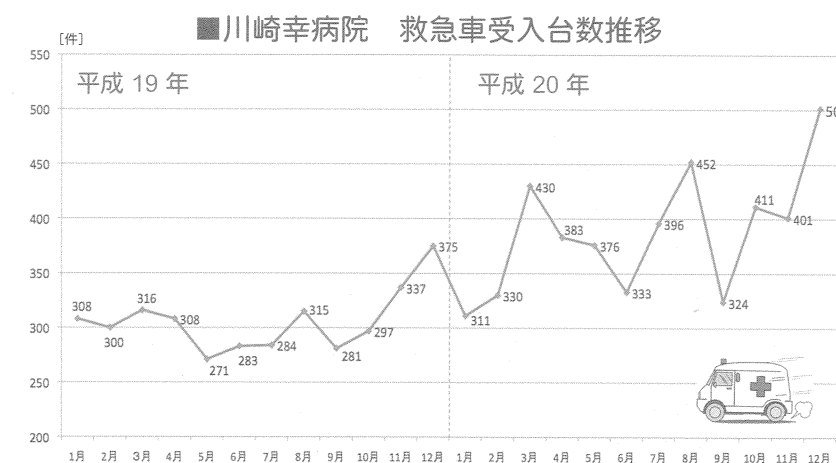
救急車台数過去最高

月間501件を記録（2008年12月）、前年同月比33%増

川崎幸病院では昨年12月の救急車台数が501台となり、前年同月の375台を大幅に上回るとともに、過去最高の受入台数となった。また、2008年（1月～12月の12ヶ月間）の救急車台数は4,648台とこれも過去の記録を大きく上回り、前年比では26.5%の大幅増となった。

川崎幸病院の後藤救急部長は「救急患者の受入は川崎幸病院の大事な使命。目下、職員が一丸となって救急受入に取り組んでおり、今後もこの勢いを続けたい」と話している。この9月には新・川崎幸病院建設工事がいよいよ着工となる。

新病院はホールディングベッド15床を備え、北米型ERシステムにより救急医療がさらに強化される計画であり、これに向けて川崎幸病院の救急受入への取り組みはさらに前進するであろう。



《趣味探訪》

『秒速 3 m の競泳』

—フィンスイミング世界選手権日本代表を目指して—

川崎幸病院中原分院 看護師 島崎 みゆき

フィンスイミングという競技をご存知でしょうか。モノフィンという、イルカの尾ひれの様な形をした大きな足ヒレを履いて行なわれる水泳競技です。泳ぎ方もイルカと同じように水中を体をうねらせながら抵抗を減らして泳ぎます。世界のトップクラスの男子選手は秒速3mの速さで泳ぎ、50mを14秒足らずで泳いでしまいます。競泳からフィンスイミングへ転向した選手が大半ですが、フィンスイミングを通して泳ぐ事を覚え、選手として活躍している人も少なくはありません。旧ソビエトやヨーロッパを中心に発展し、日本ではあまり馴染みのない競技ですが、お隣の韓国や中国でも盛んに行なわれています。

私はそのフィンスイミングと競泳、二つの競技の選手をしています。今年の目標は、9月に行なわれるフィンスイミングの世界選手権で、日本代表チームの一員として戦う事が今の私の目標です。そのためには5月に行なわれる日本選手権で代表権を獲得しなければなりません。また競泳では、全国実業団大会への連続5回目の出場を目論んでいます。お隣の韓国ではフィンスイミングでプロ契約を結ぶ選手も数多くいますが、日本ではとても難しいのが現状です。遠征費用（世界選手権では40～50万円もかかります）、1枚6万円もするレース用のモノフィン、水着、練習やコンディショニングのための費用などを賄うために社会人選手は皆働いて捻出しています。競技生活を続けるためのやりくりは本当に大変ですが、幸いにも私は看護という仕事が好きなので、二束のわらじは決して苦痛ではありません。

実は私、アスリートとしての競技歴はたった8年です。看護師歴はこの春で10年。つまりそう、看護師になってから始めたわけです。それまでの私は、学生時代からずっと運動とは縁の無い生活を送っていました。そんな私がアスリートに転身したきっかけは、ダイエットです。不健康な食生活がたたリ、立派なメタボな体型になってしまった事を悔いて一年発起。毎日のように仕事の合間を縫って近所のプールに通いつめるうちに泳ぐことが好きでたまらなくなり、遅咲きながら選手として取り組むようになったのです。それが22歳のことです。そして4年前に、フィンスイミングと出会いました。

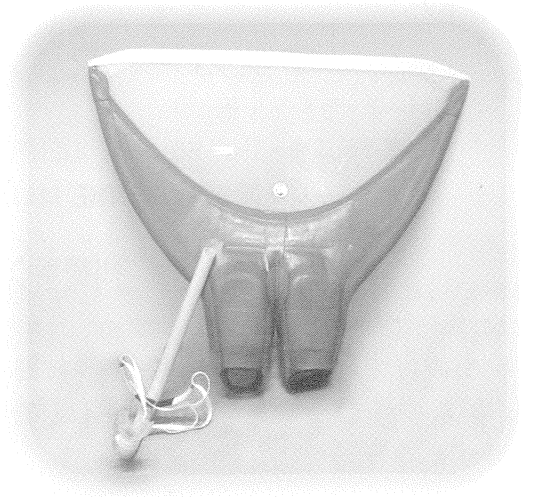
練習は厳しい事の連続です。私は競技を始めたのが大人になってからだという点で、ハンデがあります。体力や神経、水感には飛躍的に成長できる絶対的な臨界期があるけれど、その時期を過ぎても成長は可能だというのが、私の信念です。成長させるための方法が難しいだけで、不可能ではないと思うのです。やり方次第で可能性を開いていけるはずで、ただ多くの人がそのやり方を知る前に諦めてしまうだけなのです。

世の中には頑張ってもどうにもならない事もあります。それは自然の法則にちなんだ事です。それ以外の事は、挑戦する前から無理だと諦めてしまつてはナンセンスなのでは。私はそう思うのです。壁は高ければ高いほど登ったときの眺めは良いつてよく言いますし。

肉体的に追い込んでいく一方で、精神的にも戦いの連続です。気持ちで負けたら、勝つ事はできません。目標を絶対に達成するというゆるがない信念を持つ事が大切です。自分の現状に甘んじて目標をその時々で変更してしまうと、目標に対して迷子になり良い結果は得られません。矢を放ち始めた後に、的が動いてしまつては、何も射抜く事はできないのです。選手が体感する「苦痛」はユニークです。本当の苦痛は「痛む」もので、本当のダメージを警告しているものです。勿論、体を故障から守るためのアンテナには敏感になっていなければなりません、「苦しい」「息があがりすぎている」「もう体がこれ以上動かない」そういった感覚を悪い「苦痛」と捉えてしまうと、それらを感じた瞬間に無駄に力み、筋肉の緊張がさらに疲労を招き、苦痛を倍増させ、速く泳ぐことを困難にしまいます。選手の場合は、「苦しい」という感覚が適応している証だと、頑張つて練習している時に当然感じるべき良いシグナルだと思う癖がついているので、「苦痛＝死んでしまう！」では無く、「苦痛＝良い方向に向かっている証」なのです。「苦痛」をその苦しみから逃れるためのサインにするのでは無く、そのまま続けるサイン、もしくはそこまでやれというサインだと認識しています。そうやって取り組んだ先に勝ち取れる物を知っているのです、選手の「苦痛」は喜びと繋がっているのです。

『フィンスイミング日本選手権代表権を獲得、世界選手権日本代表として戦う。そして競泳全国実業団大会への連続5回出場を果たす』

私は今日もこの目標に向かって進んでいきます。
(競技に興味がある方、泳ぐのが大好きな方からのご連絡、お待ちしております！)



〈フィンスイミングギア。
モノフィンとシュノーケル〉



《読書のすすめ》

「千変万化、波瀾万丈、手に汗握る展開！」

ロバート・ラドラム 著

■「暗殺者・THE BOURNE IDENTITY」

新潮文庫

税込み：660円

■「マタレーズ暗殺集団・THE MATARESE CIRCLE」

角川書店

税込み：693円

川崎幸クリニック 内科医師・内視鏡室室長 設楽 雅人

冒険小説好きとしては、ぜひともお勧めしたいのは、ロバート・ラドラムの次の2点です。「暗殺者・THE BOURNE IDENTITY」新潮文庫。

「マタレーズ暗殺集団・THE MATARESE CIRCLE」角川書店、です。

著者のロバート・ラドラムは1927年生まれで、俳優、声優、演出家、劇場主などを経て、40歳で突然作家に転身した遅咲きの作家です。

前作の暗殺者は映画化されているので、皆さんの中にはご存知の方もいると思いますが、ぜひとも原作を読んでもらいたいと思います。映画ではかなり割愛されている、その行間に映画では描き切れていない、ダイナミックな描写と内的な心理葛藤がありなぜこの本が映画化されるのかお分かりになるとと思います。時間ができたときに手にとってじっくり読み解いていただきたいと思う1点です。

次にお勧めのマタレーズ暗殺集団は、字の通りの暗殺者の集団で、暗殺により世界の歴史を変えてきた闇の組織です。かつてのソビエト連邦の指導者、スターリンや、アメリカ合衆国のルーズベルトの死さえも彼らの演出であり、各国の政府は彼らと極秘の契約を結び、要人の暗殺を請け負わせてきた。(まるでサイトウタカヲのゴルゴ13のような?)という恐ろしい集団です。そして、その恐怖の暗殺集団が独自の活動を始め、米ソの要人の暗殺などに絡んで、アメリカ合衆国国務省領事作戦部のエージェント、KGB工作員、MI6のエージェント、などが絡み、かつては仇敵同士の米ソ工作員が互いにお互いの過去の縁を乗り越えて、マタレーズの阻止のために手を握るのです。この暗殺集団の本拠は一体何処なのか？彼らは何者なのか？どこからの資金をより

どころとして、何を心の拠り所として、互いの共通の信念にしているのか？しかもなぜそのような活動をしているのか？すべては闇の中から始まります。しかも組織だけではなく、過去の秘密暴露を恐れる米ソ2大大国両政府が絡んできて、執拗に米ソの両工作員を追い続けるのです。どうです？面白そうでしょうか？

彼の作品は、かつて演劇をやっていた影響と思いますが、演し物としての面白さに、常に観客としての読者が、その彼の世界に引き込まれてしまうことに尽きると思います。そのストーリーの流れは、急流あり、激流あり、逆流あり、はたまた深いよどみがあり、滝があるというように、千変万化、波乱万丈、平穏なところが全くありません。よって読者は必然的にこの流れの中に放り込まれ、流れに身を任せて、手に汗握っていくしかないのです。とにかく、一度は彼の世界を垣間見て見てください。そして、一度彼の世界に入り込むと、また次の世界が見たくなること請け合いです。



「マタレーズ暗殺集団」角川書店 税込み：693円

ミュージック・サロン



※今回も幾つかの事業所でコンサートが開催(開催状況は巻末トピックスを参照)されましたが、その中から本号ではさやま総合クリニック「第17回ヘルシーコンサート」の模様をお伝えします。

■さやま総合クリニック

第17回ヘルシーコンサート♪

コンサートはJ.S.バッハの「無伴奏チェロ組曲1番プレリュード」の清澄で伸びやかな旋律で始まりました。バッハがこの曲に込めた祈りとも言える深い精神性、豊かな音楽性が会場を満たします。続いて、フルート、チェロ、ピアノによるシューベルトのピアノ三重奏曲。シューベルト特有の愁いを帯びた叙情性、細やかな旋律が見事なアンサンブルによって紡がれていきます。次々と奏でられる室内楽の名曲たちに、会場一杯の聴衆は心豊かに感じ入った様子でした。

■日 時：11月15日(土) ■会 場：3階ピアノホール 聴衆：60名

■出 演：渡瀬英彦(フルート)、宮澤等(チェロ)、五味こずえ(ピアノ)

■曲 目：バッハ：無伴奏チェロ組曲より、シューベルト：ピアノ三重奏曲より、ルクレール：ソナタ 他

※演奏家プロフィール：渡瀬英彦(フルート) 国立音楽大学器楽科フルート専攻卒業。ベルギー王立ブリュッセル音楽院に2年間留学。セブンスター、ソブロスブラジル、FLOR DE SAMPAMメンバー。 宮澤等(チェロ) 国立音楽大学卒業。92年オランダ・オルランドフェスティバルマスターコース合格、G.クルターク師事。現在、国立音楽大学嘱託演奏員及び同付属音楽高等学校講師。 五味こずえ(ピアノ) 東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。91年、ビティナピアノコンペションF級にて奨励賞受賞し、受賞者によるモーツァルトコンサート出演。現在は器楽、声楽のリサイタル伴奏、NHK-FM出演をはじめとして日本各地で活躍中。



〈シューベルトピアノ三重奏曲の美しいアンサンブル〉

☆ヘルシーコンサートのいわれ☆

2003年3月、狭山総合クリニックの院長に就任した青山医師(現狭山病院長)が、クリニックを診療の場としてだけでなく、地域の人たちの文化的な交流の場にしたいと考え、私財でピアノを購入して提供するとともに、毎週土曜日の午後からピアノ演奏を主体にした「ヘルシーコンサート」を開催することを決めました。ホームページにも紹介していますが、このピアノは世界最高峰といわれる「スタインウェイ アンド サンズ」のコンサート用グランドピアノで、2000年のショパンコンクールで圧倒的な実力で一位優勝した中国のピアニストコンディ・リが練習用に愛用したものです。

★トピックス④

【川崎幸病院】

- 10月3日 保育室遠足 行先：千葉県マザー牧場 参加者44名(内、子供25名)
- 10月8日 山本晋大動脈センター長がTBS『これが世界のスーパードクター9』に出演
- 10月25～26日 職員旅行(一泊二日コース) 参加者計44名
行先：安房鴨川(鴨川館)・鴨川シーワールド
- 11月1日、12月20日 第22, 23回うるおいコンサート
- 11月8日 職員旅行(日帰りコース) 参加者計26名
行先：箱根ガラスの森・富士屋ホテルランチコース料理
- 11月17日～12月11日 カムバックナース(看護師復職支援)セミナー
- 11月21日 横浜市鶴見消防署管轄救急隊(本署課長及び6隊)との意見交換会
- 11月27日 看護部長ブログ開始(ホームページ内)
- 12月6日 保育室クリスマス会

- 12月12日 コメディカル・事務部共催研究発表会(参加14演題)
(金賞:薬剤科/銀賞:医療安全管理課/銅賞:CE科/敢闘賞:EMT科/検討賞:地域医療連携室)
- 12月13日 看護部研究発表会(参加9演題)
- 12月29日 納会
- 出張講演(公開講座)
 - ・10月18日 社会福祉法人全国社会福祉協議会住吉支部主催『生活習慣病について』
(講師:副院長・内科部長/沢 丞) 元住吉会館 参加者57名
 - ・12月 2日 中原区役所地域保健福祉課主催『睡眠時無呼吸症候群と病気』
(講師:副院長・心臓病センター長/塚本喜昭) 中原区役所5階会議室 参加者48名
 - ・12月 6日 パークシティ新川崎自治会主催『生活習慣病について』
(講師:副院長・内科部長/沢 丞) パークシティ新川崎自治会 参加者36名
- 救急隊勉強会(市内、鶴見の救急隊員が参加されました)
 - ・10月22,23日 『救急部の紹介』(講師:救急部長/後藤 学) 参加者計15名
- 院内勉強会/講演会
 - ・10月 9日 外科主催『第8回さいわいプレスト・イブニングカンファランス』
 - ・11月 6日 医療安全管理課主催『医療安全セミナー』 参加者232名
 - ①大野病院事件無罪判決と事故調及び民事・刑事事件に対する影響(南出行生弁護士※)
 - ②患者の自己決定権と医療従事者の説明義務(小原園美弁護士※)
 - ③モンスターペーシェントに対する法的措置(上野一恵弁護士※) ※シリウス総合法律事務所
 - ・11月13日 院内感染対策委員会主催『結核の基礎知識』(講師:明治製菓/守谷太一郎氏)
 - ・12月 4日 緩和ケアチーム主催『第1回緩和ケア院内勉強会』(講師:外科医長/高橋保正)
 - ・12月 9日 医局主催『心臓リハビリテーション研究会』
(講師:文教大学人間科学部教授/石原俊一先生) 参加者36名
 - ・12月15日 医局主催『最先端のがん治療について～陽子線(粒子線)治療』
(講師:南東北がん陽子線治療センター長/不和信和先生) 参加者37名

【川崎幸病院中原分院】

- 10月25日, 11月22日, 12月6日 第3, 4, 5回うるおいコンサート
- 公開講座
 - ・10月18日 『生活習慣病について』(講師:川崎幸病院副院長・内科部長/沢 丞) 参加者57名
 - ・11月29日 『C型肝炎の治療』(講師:院長/若林健司) 参加者11名
 - ・12月 2日 『睡眠時無呼吸症候群と生活習慣病』
(講師:川崎幸病院副院長・心臓病センター長/塚本喜昭) 参加者48名
- 院内勉強会
 - ・12月 4日 感染対策委員会主催『ノロウィルス等による感染性胃腸炎の院内感染対策』
(講師:中原区保健所衛生課/榎本彩) 参加者16名
 - ・12月18日 薬剤科主催『肺炎球菌ワクチン(ニューモバックスNP)について』
(講師:萬有製薬/三井義孝) 参加者20名

【狭山病院】

- 10月4日 看護師復職支援セミナー(所沢市民文化センターミューズ) 参加者10名
- 10月4,5日/11,12日/18,19日 職員旅行(一泊二日コース) 参加者計169名
行先:信州蓼科温泉とピラタス蓼科ロープウェイ・リユーター体験
- 10月14日 医療監視

- 10月21日 厚生労働省による平成20年受療行動調査・患者調査に協力
- 10月25日 研修医症例発表会(初期及び後期研修医による発表11演題)
- 11月 9日 職員旅行(日帰りコース) 参加者101名(職員54名、家族47名)
行先:河口湖オルゴールの森と富士急ハイランド・貸切ランチバイキング
- 11月27日 防災訓練(日勤帯・西棟からの出火を想定した総合訓練を実施しました)
- 12月 1日 看護師復職支援セミナー(狭山病院) 参加者9名
- 12月13日 看護研究発表会(発表12演題)
- 12月18日 第2回嗜好調査(回収率72.9%)
- 12月20日 保育室クリスマス会(16家族の参加有り)
- 12月22日 クリスマスキャロル(職員による聖歌隊53名が病棟をまわりました)
- 12月25,26日 献血(埼玉県赤十字血液センター主催)
(2日間で132名の方が協力し、内102名が献血実施しました)

●院内勉強会

- ・11月 6日 『新型インフルエンザへの対応』 参加者130名
- ・11月 7日 『接遇研修 ～忙しい時こそ笑顔の接遇～』 参加者69名
- ・11月11日・14日 『医薬品とその安全使用について』 参加者62名
- ・11月19日・28日 『MRI安全講習会』 参加者77名
- ・12月12日 『保険診療勉強会』 参加者107名

●地域医療連携・公開カンファレンス

- ・10月31日 『院内肺炎の見方、考え方～新しい診療ガイドライン～』
(講師:副院長/青山正大) 参加者100名
- ・11月21日 『冬季における掻痒とステロイド外用剤の正しい使い方』
(講師:皮膚科副部長/神戸有希) 参加者67名
- ・12月 5日 『意識障害の診療～コーマ・ルールとPCEC～』 参加者82名
(講師:埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター長/堤 晴彦教授)
- ・12月19日 『アレルギー性鼻炎の現状と対策』(講師:耳鼻咽喉科医長/片山 論) 参加者85名

【川崎幸クリニック】

- 11月1日、12月20日 第22,23回うるおいコンサート
- 糖尿病公開講座 講師:内科医師/安島美保、管理栄養士、理学療法士、看護師
 - ・10月1日 参加11名、12月6日 参加12名
- 気功教室 講師:臨床心理士/稲富正治
 - ・10月21日 参加5名 ・11月17日 参加7名 ・12月15日 参加6名
- 心理相談室公開講座 講師:臨床心理士/成田亜紀・小川佳那
 - ・10月20日 『うつの人への接し方』 参加者7名
 - ・12月22日 『リラックス健康法』 参加者11名

【さやま総合クリニック】

- 10月18日、11月15日、12月13日 第16,17,18回ヘルシーコンサート
- 健康教室
 - ・10月 2日 『眼の合併症について』(講師:眼科医長/鈴木俊一、内科副部長/三好洋二) 参加者20名
 - ・11月 6日 『糖尿病と日常生活・足の手入れ』(講師:看護/臼井敏子) 参加者15名
 - ・12月 4日 『ヘルシーおせちに挑戦!』(講師:管理栄養士/蒲池祐子) 参加者15名

【さやま腎クリニック】

- 10月26日 内覧会 参加者266名

※オープニング記念講演 参加者116名

『北彩都病院 氷点下の町の熱い取り組み ～透析医療はチーム医療、愛ある医療を目指して～』

(講師:北彩都病院副院長/石田真理先生)

『透析患者に対する薬剤の使い方』(講師:熊本大学薬学部臨床薬理学分野教授/平田純生先生)

- 11月 3日 開院 ※登録患者182名で開始

- 12月19日 防災訓練

【さいわい鹿島田クリニック】

- 12月18日 外来・透析合同避難訓練 職員全員参加

- 院内勉強会

・10月29日 『糖尿病性腎症について』(講師:院長/朝倉裕士) 参加者50名

・12月17日 『膠原病の腎障害について』(講師:医師/木暮照子) 参加者40名

【アルファメディック・クリニック】

- 11月21日 日本人間ドック健診協会研修交流会 参加者2名

【川崎健診クリニック】

- 11月 1日 光和会より石心会に移籍

- 12月 1日 全国労働衛生団体連合会労働衛生サービス機能評価機構認定

【昭島腎クリニック】

- 10月 1日 医療法人社団新緑会に移籍

- 院内勉強会

・10月 3日 『特定健診・特定保健指導について』(講師:栗本院長) 参加者35名

・11月20,27日 『JMS透析用コンソールGC110N導入』(講師:JMS/多胡氏) 参加者27名

【新緑脳神経外科】

- 12月 1日 新緑会より石心会へ移籍、事業所名を新緑脳神経外科に改称

- 院内勉強会

・12月11日 講演①『医療従事者のメンタルヘルスについて』(講師:看護師/藤村智美)

講演②『関東信越厚生局による医療機関個別指導～当院の指導内容と改善計画について～』

(講師:医事課主任/菅野舞)

講演③『インシデント報告と対策について』(院長/佐藤健吾) 参加者42名

【立川介護老人保健施設わかば】

- 院内勉強会

・10月15日 『転倒を重大事故にしないために』(全国老健京都大会報告)

(講師:作業療法士/茂手木淳) 参加者22名

・11月19日 『介護保険について・移乗動作講習会』

(講師:事務課長/城定浩幸、介護次長/渡辺一雄) 参加者24名

・11月(3回)『心臓マッサージ講習』(講師:施設長/窪田惺) 参加者計40名

・12月 1日 『安全運転講習』(講師:ユニバーサルソリューション/程島氏) 参加者30名

・12月17日 『口腔ケアについて』(講師:メディパス歯科衛生士/櫻井氏) 参加者27名

【立川市北部東わかば地域包括支援センター】

- 10月20日 保育園遠足 行先:昭和記念講演 参加者11名(内、園児6名)